

南阿蘇村子ども議会開催

2月17日、村の未来を担う中学生が行政に興味・関心を持ち、これからの村づくりへの意識を高めてもらう機会とするため、また、中学生ならではの発想力を村政に活かすため、役場議場にて「南阿蘇村子ども議会」が開催されました。

当日は、南阿蘇中学校の3年生84人のうち代表として全8班、32人の生徒が「子ども議員」として参加。議場の

後方席と別室モニターでは議員以外の生徒が傍聴しました。学校で話し合った中学生の目線で「日頃生活するうえで疑問に思っていること」や「村をより良くするための提案」について、村長をはじめとする村の執行部に対し、自分たちの言葉でしっかりと想いを伝えました。当日、代表して質問してくれた「子ども議員」とその内容・回答を一部抜粋して紹介します。



1班 「南阿蘇エンジンサイクルラリー」

提案内容

- 村にある水源や神社を、スタンラリー形式にして自転車で観光する。
- 白川水源など6カ所を巡るスタンラリーを実施する。スタンプは生徒が作成する。スタンプをすべて集めることができれば、村で使える商品券をプレゼントする。 など



村長回答

「村としても「自転車」と「観光」を掛け合わせた取り組みを進めている。みなみあそ観光局で「サイクルトレジャー」という名称で、ゴールデンウィークから実施予定。中学生のスタンプデザインはぜひ実現したい。

「おすすめの場所や、休憩所のスイーツなどの具体的な希望があれば、ぜひ教えてほしい。若い感性、新たな視点を取り入れ、有効なSNSでの情報発信を行ってほしい。」

2班 「観光で南阿蘇村を日本一に!!」

提案内容

- 複数のツールを活用して、村のことを知ってもらう活動をする。
- 各駅や観光地にQRコードを設置し、観光マップを見られるようにする。
- 宿泊施設や観光地にレンタル電気自転車を設置する。
- ナイトマーケットを実施する。 など



村長回答

「現在、村ではQRコードによる観光情報の表示や多言語対応に特化したホームページなどの環境整備が整っていない。今後、環境整備について検討していきたい。」

「ナイトマーケット」にも興味を惹かれた。南阿蘇の美しい星空の下で特産品を楽しむというこのアイデアは、観光客にとって特別な思い出となるはず。前向きに検討していこう。」

3班 「南阿蘇鉄道について」

提案内容

- 南阿蘇の観光客数を増やすために、南阿蘇鉄道と協力してイベントを行う。
- 電車の本数を増やす。
- 駅内にコンビニを作ったり、Wi-Fiを利用可能にしたり内装を整える。
- 運賃を下げる。
- 電車を使ったミニゲームを実施する。 など



村長回答

「「増便」や「運賃の引き下げ」は、鉄道会社単独ではコストの面ですくには難しいのが現状。南阿蘇鉄道では季節に応じたイベント列車の運行、みなみあそ観光局が主体で「フットパス」と呼ばれるヨーロッパ式の散歩スタイルを導入して、各駅を拠点にして周辺を散策してもらうためのマップ作りなどを進めるなど各機関と努めている。」

「駅の内装と機能やミニゲームとも融合させてより良い鉄道を一緒に作ってほしい。」

4班 「南阿蘇アドベンチャー」

提案内容

村の魅力を発信するために、「まちあそび人生ゲーム」イベントの開催を行う。
 ・南阿蘇のカフェや水源をまわるゲームを行うことで、村の魅力を知ってもらおう。



村長回答

・村や南阿蘇鉄道でも、地図を見ながら制限時間内にチェックポイントを回って得点を集める「ロケインング」というイベントを行ってきた実績がある。ストーリー性や、独自の通貨を取り入れている点は、村の魅力が増すので参考にしたい。
 ・村版のゲームを作るなら、どんなマスを入れるのか、ユニークなアイデアを教えてください。

5班 「中学生が村を盛り上げる」

提案内容

村で実施されている「あつまり〜ん祭」の活性化のために、企画段階で中学生が積極的に参加する。
 ・実行委員に南阿蘇中学生も参加する。
 ・観客数を増やすために、あつまり〜ん祭の中で大抽選会を行う。



村長回答

・中学生の実行委員会への参加は、村としてもぜひお願いしたい。ポスター作成や準備の協力、そして未来を担う皆さんの自由な発想を直接運営に活かすことが、課題を解決する大きな力になると確信している。
 ・スタンラリーなどを通じて当日の来場につながる案、会場内での「お買い物」や「体験教室」と抽選会を連動させる案も会場を活性化するための大きな原動力となる。アイデアを核にし、新しい祭りの実現を応援する。

6班 「学校司書について」

提案内容

中学生が利用しやすい図書室にするための一環として、司書を配置する。
 ・本の専門職員である図書司書を配置し、生徒や職員との連携を深めることで、図書館の利用促進につなげる。



村長回答

・頼れるナビゲーターが求められている存在なのだと思われた。村としても人材の配置や、図書環境の整備について前向きに進めていきたい。
 ・「利用しやすい図書室」にするために、司書の配置に加えて、今の図書室に「あったらいいな」と思うものは何か、「毎日でも通いたくなる図書室」のイメージをもっと少し具体的に聞かせてほしい。

7班 「南阿蘇かけ橋プラン」

提案内容

普段から抱えている高齢者の悩みを解決するためのボランティア活動を行う。
 ・中学校と地域のボランティアが協力し、高齢者の日常生活でのちょっとした困りごとをお手伝いする活動を行う機会を設ける。
 など



村長回答

・中学生が地域活動に参加することで、住民同士の相互扶助(共助)を重視し、誰もが支え手・受け手となる「共に生きる社会」への理解を深めるとともに、感謝の言葉を直接受け取る機会を得ることは、自己研鑽や地域への愛着形成にもつながる有意義な経験となる。一方で実施にあたっては、安全管理や学校生活との両立など、慎重に検討すべき課題もある。どのような形なら実現できるのかを、行政も共に考えていきたい。

8班 「持続可能な村づくり」

提案内容

児童福祉の観点から、村に子ども食堂の充実と、病児保育を行うことができる施設を作る。
 ・長期休暇中を利用して、中学生が中心となって子ども食堂を実施する。
 ・核家族世帯における不安の解消の一助となるよう、村内に病児保育ができる施設を設置する。
 など



村長回答

・昨年8月に村と熊本県子ども食堂ネットワーク、熊本県信用組合による子ども食堂に関する基本協定を結び連携を深めている。「あつまり〜ん祭」では中学生にも参加してもらった。今後実現に向けて、村も全力で応援する。
 ・村では本年5月頃に「村立保育所の統廃合に伴う、あり方検討委員会」を設置する。その委員会の中で、保育園の統廃合や保育園の民間委託も含め病児保育の検討も進めていく。

子ども議長の感想



中学生一人で議長席に座るのは緊張しました。議会がスムーズに運営できるように、落ち着いてしっかり話すことを意識しました。今回の議会をきっかけに、いろいろな視点で村のことを見ていきたいです。

子ども議長を務めた上野好加さん

